

「KOBEMAG」角・丸パイプ

東成鋼管が扱いはじめ

東日本地区中心に対応



KOBEMAGを母材とした鋼管

鋼管販売や超精密金
属管製造を手掛ける東
成鋼管（本社＝東京都
中央区、岡部耕喜社長）
は、神戸製鋼所の高耐
食めつき鋼板「KOB
EMAG（コーベマ
グ）」を母材とした角・パ
イプおよび丸パイプの
取り扱いを全国に先駆

けて開始した。浦安事
業所（千葉県浦安市）
と古河事業所（茨城県
古河市）で取り扱い、
東日本地区を中心に対
応する。
東成鋼管が新たに取
り扱いを行うKOBEM
AGの角パイプ（S
TKR400）はサイ

ズが2・3^リ×100
^リ×100^リと3・2
^リ×100^リ×100
^リの2サイズ、一方、
丸パイプ（STK40
0）は外径101・6
^ミ、肉厚3・2^ミと外

径114・3^ミ、肉厚
3・5^ミの2サイズ。
岡部社長は「需要動向
に合わせて今後商品サ
イズの拡充を図ってい
きたい」と話す。
同社はSTKMI1

A、OST（油圧配管
用シームレス引抜鋼
管）やSGPW（水配
管用鋼管）、SLP（大
径薄肉鋼管）の在庫販
売・品ぞろえに定評が
あり、特にSTKMI1

Aは外径4・0^リから
89・1^リと全国屈指の
商品メニューを誇る。
新たにKOBEMAG
の角・丸パイプで建
築、電気、自動車関連の
需要を捕捉し、顧客満
足度を高めたい考え。